

春節（しゅんせつ）とは旧暦の正月である。中華で最も重要とされる祝祭日であり、新暦の正月に比べ盛大に(しゅくが)祝賀され、中国や台湾のみならずシンガポールなどの中華の国家では数日間の祝日を設定されている。



表現

春節は中国では過年とも表現され(こんどう)混同されているが、民間での習慣では過年は旧暦 12 月 23 日の祭灶 (一部地方では 12 月 8 日の腊祭)から旧暦正月 15 日の元宵節までの期間を示すものである。春節は正月初一を示す言葉であり、古代においては元旦と称されていた。元とは始まるの意味であり、旦とは日の出を示す象形であることから、元旦は最初に日が昇る一日、すなわち正月を示す言葉となった。また春節は年、月、日の始まりであることから「三元」とも、それぞれの最初の朝であることから「三朝」とも称されることがある。



習慣

春節での習慣としては、起床後に年配者に対して長寿を祝う言葉を述べ、その後近隣住民や知人と春節を祝う言葉を述べ合うものがあるそれが（拜年）とといいます。また正月料理も存在しており、一般に鶏（吉と同音）や魚（余と同音）を食べるとされるが、広大な中国の中では地方により正月料理も大きく異なる。北方では餃子が知られており、南方では一年が甘くなるようにとの願いを込めて糖蓮子や元宵、糖年糕を食べる習慣がある。また家庭では春節用の衣装を用意し、新年の華やかさを演出するだけでなく、新年に幸運をもたらす意味を持たせている。



拜年



お

正月料理

以上